＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝
TRACK 03｜女性のエンパワメント
＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝
ふふ…。
女性を道具として扱ってきた男であるあなたの、
男の象徴であるはずのおちんちんが、今度は女性の戦利品になる。
…皮肉ですね。
あなたの男性器には、女性のエンパワメントの物語の、
小道具にでもなってもらいましょうか。

しこしこしこしこ。
しこしこしこしこしこしこしこしこしこ。

…。
なつきを傷つけた
女性の敵の、男の印が、
綾子という別の女性に退治されることで、
女性たちの結束の印になるんです。

一方あなたたち男は、結束する能力がない。
だから、男を捕食している女性に、男の敵である私に、
男の証を、女性連帯の証として、
好き勝手使われていても、誰も止められない。
…つまり、あなたのおちんちんは、
女性の強さの証であると同時に、男たちの弱さを晒す証でもあるんです。

どうですか？
この屈辱は。

……
ふふ…。
また勃起してきましたね。

しこしこしこしこ…。
男のシンボルを女性に消費されて、
女性の勝利を祝えることを喜んでいるのでしょうか？
それとも、
男の最後の尊厳だけは守りたくて、硬くなることで、
食べられないように必死に抵抗しているのでしょうか？

でもね、
女性たちの NO を最初に踏み躙ったのは、男のあなたのほうなんですよ。

だから私は女性として、あなたの「男の NO」を踏み躙って、
あなたが硬くなって必死に守り抜こうとする「男の証」を強引に噛み砕き、
女性たちをエンパワメントするための材料に、
女性たちの活力に、
変換します。

しこしこしこしこしこしこしこしこ。
あれ、我慢汁が垂れてる。
なんだ、喜んでたんですか。

…とんだ変態ですね。
いいでしょう。
なら、あなたに、もっと分からせてあげます。
自分の性器を、異性に道具として使われる悔しさを。